

シビル NPO 連携プラットフォーム / since2014

CONTENTS

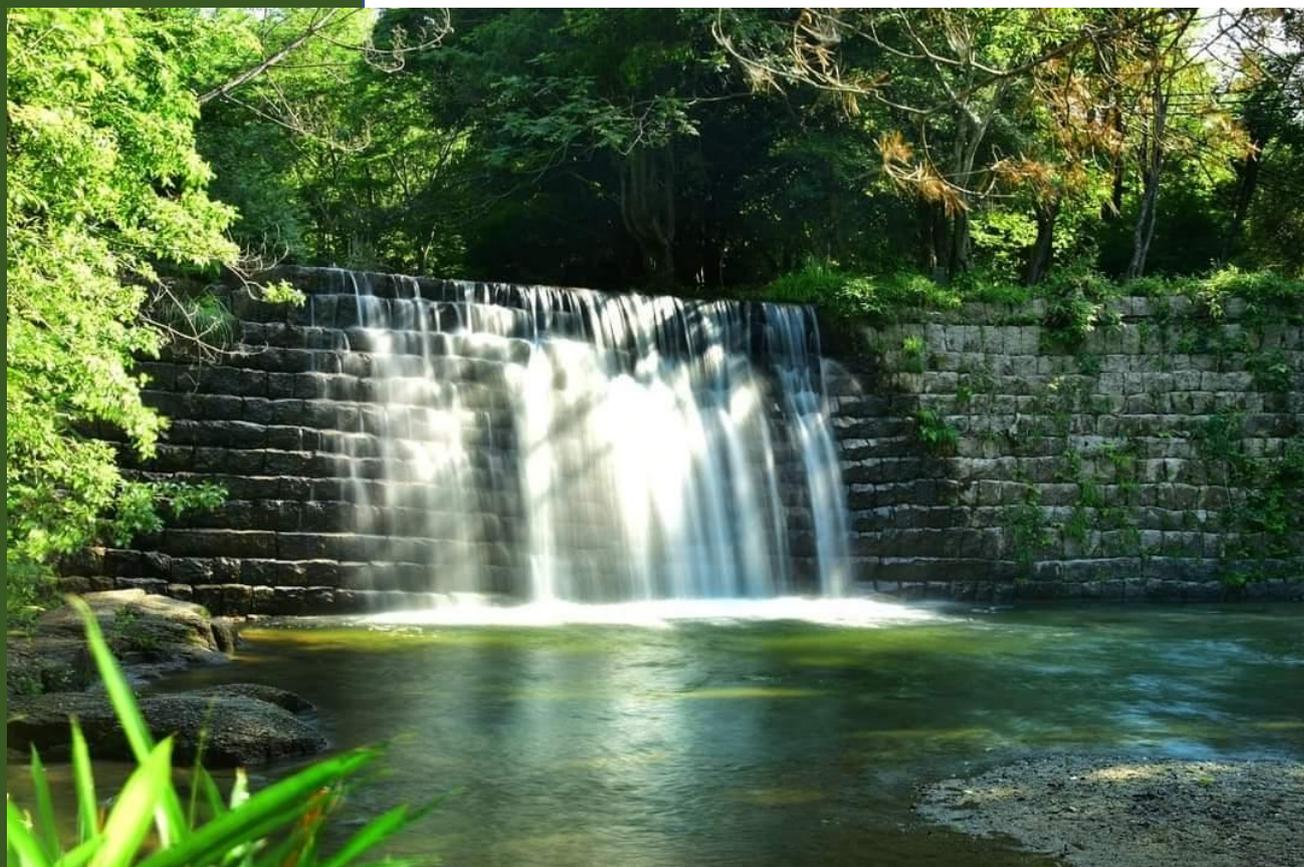
▼わかりやすい土木

・ヨハネス・デ・レーケと田
辺義三郎：田中努

CNCP 通信

VOL.130 / 2025.2.5

■今月の土木■



オランダ堰堤（夏には水遊びの子どもたちで賑わう）

▼子どもが知りたい土木の世界を発見！

▽土木のしごと（ぬりえ）

・八王子 みなみ野大橋

▼これも土木

・土地の汚染を診断
「土壤汚染状況調査の概要」
：奥村政孝

▼事務局通信

■オランダ堰堤

- ・大津市上田上桐生町。草津川の上流に築造された石積み堰堤。明治 19 年着工、22 年完成。直高 7m（推定）、天端幅 5.7～7.9m、堤長 34m。
- ・田上山一帯は奈良時代以降、寺院などの建立に当たり、用材供給のため幾度となく伐採が繰り返され、江戸時代中期には田上山は荒廃し禿げ山となり、幾多の土砂災害を招いてきたと言われる。
- ・明治政府は、明治 6 年オランダ人技術者を招き、淀川水系における治山を実施。その治山の一環として、山腹から流れ出す土砂をせき止め、河床の安定化を図るために築造された。
- ・ヨハネス・デ・レーケ指導、田辺義三郎設計とされ、切石布積みアーチ式堰堤。関西治水史上重要な淀川水源地田上砂防施設群の一つ。
- ・1988 年（昭和 63 年）大津市の史跡に指定 / 1989 年（平成元年）「産業遺産三百選」に選定 / 2004 年（平成 16 年）土木学会選奨土木遺産に選定。（雲林院ゆみ）

▼わかりやすい土木に続く

